

現代の国語・言語文化（近現代）

一
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

集合時刻の八時半がすぎたのに、係りの役人は出てこなかった。アメリカン・スクール見学団の一行はもう二、三十分も前からほぼ集合を完了していた。三十人ばかりの者が、通勤者にまじってこの県庁にたどりつき、いつのまにか彼らだけここに取り残されたように、バラバラになって石の階段の上だとか、砂利の上だとかに、腰をおろしていた。その中には女教員の姿も一つまじって見えた。盛装のつもりで、ハイ・ヒールをはき仕立てたばかりの格子縞（注2）のスーツを着こみ帽子をつけているのが、かえって卑しいあわれなかんじをあたえた。

三十人ばかりの教員たちは、一度は皆、三階にある学務部までのぼり、この広場に追いもどされた。広場に集まれとの指示は、一週間前に行われた打ち合わせ会の時にはなかったのだ。その打ち合わせ会では、アメリカン・スクール見学の引率者である指導課の役人が、出席をとったあと注意を何カ条か述べた。そのうちの第一カ条が、集合時間のゲンシユであつた。^③第二カ条が服装の清潔であつた。がこの達しが終った瞬間に、ざわめきが起つた。第三カ条が静粛を守ることだという達しが聞えるとうやくそのざわめきはとまった。第四カ条が弁当持参、往復十二キロの徒步行軍に堪えられるように十分の腹拵はらこしらえをしておくようにというのだつた。終戦後三年、教員の腹は、日本人の誰にもおとらずへつていた。

ジープが急カーブを描きながら砂利をおしのけて県庁の玄関先さきにとまった。するとそのたびに、玄関先きに腰を下ろしていた者は、あわてて腰をあげると移動した。

その中で一人きり腰を下ろさないで棒⑤のように立っている男がいた。中では一番服装もよく血色もよかった。そのために目立ち、

異様でもあった。一週間まえ打ち合わせの時、その男はいく度も手をあげて係りの役人の柴元に質問をした。

「^⑥私たちはただ見学をするだけですか」

「というと？」

「^③私たちがオーラル・メソッド（日本語を使わないでやる英語の授業）授業をしてみせるというようなことはないのでですか」

「それはあなた、見学ですからね」

係りの者はそのガツシリした柔道家のようなからだをゆすぶり声を一段と高くした。

「この承諾を得るためには、われわれ学務部は並大抵でない苦勞をしたんです」

するとその男は口惜しそうにだまってしまった。

柴元が服装の清潔を^⑦ムネとすることを告げた時もこの山田という男は周囲のざわめきの中からまた手をあげた。

「何か御質問ですか」

「今言われたように服装はどんなことをしても整えておくべきです。そうでないと、われわれ英語を教えている者の品位をおとすし、第一われわれの英語教育のていどまでも疑われるのです。敗戦国民として、われわれは彼らに^な嘗められているんです。彼ら視察官が私たちの学校に来た時、私は通訳をしたのでよく知っておりますが、まずわれわれの服装を見て、目をそむけます。とくに便所です……」

彼が便所の話まで持ち出したので、彼の話はそれで中断させられてしまったが、彼はほかの教員の注視をあびた。満足な皮靴をはいている者はほとんどいなかった。^⑧

「それに」山田はざわめきが静まると性^⑧こりもなく発言した。「われわれはその日は一日中なるべく日本語を使わぬようにし、われわれの英語の力を彼らに示しましょう」

ざわめきはまたおこったが、^⑨そのとなりにいた男が悲鳴に似た叫び声をあげて、それをさえぎった。その男は伊佐と言った。
「そんなバカな。そんなバカな」

隣合わせのため山田は、伊佐一人に向き直った。柴元が、

「お互いに行きすぎは止よしましょう」

と言わなければ、山田は柴元に代って伊佐を説得したり、新しい提案を次々と出したかも知れなかった。

伊佐は英語を担当しているというだけで選挙の時に通訳にかり出されて、ジープに乗って村々の選挙場をまわったことがある。選挙はすべて占領軍の監督の下に行われたのだ。彼は英語の会話をしたことはそれまで一度もなかったし、自分が英語を教えている時、会話が出てくるとくすぐったいような恥かしい気持ちになった。まだ三十そこそこの男だが、^⑩ヘイソ英語の話をさせられるのを恐れて、視察官が来た時、二日前から学校を休み、熱もないのに氷ひょうのう嚢をあてて臥ねていたことがある。選挙場まわりのジープに乗せられた時も、彼はまたもやこの仮病を用いるつもりでいたが、軍政部に登録されていて休むと、何をされるか分らなかった。彼はある黒人と乗り合わせになったのだが、その時彼はとたんに、英語で、

「お待たせいたしましたまことに相すみませんでした」

と言ったが、相手には分らないらしくて、彼はそれを三度ばかりくりかえし、やっと相手は伊佐の顔を穴のあくほど眺めた。^⑪それはあまりにもオーソドックスな、ていねいな英語であったからだ。伊佐はいく日も前からその英語をつかうことを考えてくらし^⑫ていた。伊佐はそれからはついにゴウ、ストップの二語以外は何も言わなかった。彼はその日の五時間くらいのあいだは釜の中で煮られるような思いですごした。その実相手にとっては、彼はジープの中で眠りつづけていたも同然で、もちろん何の役にも立っていないかったのだ。

彼は選挙場へは入って行かなかった。彼がいないので黒人が場内から引き返してくると、彼の姿はない。彼はどこともなくサツとかくれてしまったのだ。彼はそんなことをするくらいなら初めから休んでいた方が無事なくらいだったのだが、いざとなると場内の満座の中で相手の分らぬ英語を聞きとったり、自分が話すことを思うと、Aがすくんでしまうのだ。

彼は必ずしも気の弱い男ではなかったのだ、村の中をジープが通りかかったりする時には、彼は後ろから相手をどうかしてしま

いたい気持ちにかられるので、とうとう車の速力の落ちた時にとびおりて山道に沿った雑木林の中にかくれた。黒人は彼がとびおりたことを知ると、うす暗い山の中で一人にされたことをおそれて、彼の姿をさがしにきた。彼は林の中で待っていて、

「おい」と日本語でいった。「お前に日本語を話さしてだな。話せなかったら容赦しないといったら、どうなるんだ」

相手は何か孤独そうな、刈りそろえたヒゲのある黒い顔を彼に近づけて、聞こうとした。刈りそろえたヒゲだけが、へんに文明的なかんじだった。近づければ伊佐の早口でしゃべる日本語の意味がわかるとでもいうようであった。^⑬伊佐はわざと早口でくりかえした。彼の口から出てくる言葉が日本語だと分ると黒人の伍長は両手ごちやうをひろげて、Bをすばめた。黒人に見てみたら、このように米語をほとんどしゃべらず、しゃべるかと思ったら日本語だということに、バカらしく、劣等感さえ感じてきたのであろう、彼は孤独な顔をますます孤独にして運転していた。

黒人はしまいには彼にはかまわなくなった。客をのせているような調子で、彼を連れて乗りまわしていたが、何にならぬにしても、辺ぴな田舎道を乗りまわすには、不穏な日本人に対して、少くとも用心棒にはなると思いだした。

(小島信夫「アメリカン・スクール」による)

(注1) アメリカン・スクール＝アメリカ国外に居住するアメリカの子どもを対象として、アメリカ本国と同様な教育を行う学校。

(注2) 格子縞＝碁盤の目のように縦横に筋を現わした模様、またはその織物。

(注3) オーラル・メソッド＝ハロルド・E・パーマーが提唱した、外国語学習における会話を重視した教授法。

〔問一〕問七については、マークシートの所定の欄に記入しなさい。問八～問十については、記述式解答用紙の所定の欄に記入しなさい。〕

問一 傍線部⑤「棒のように立っている」とはどのような様子か、最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 痩せた体で直立している様子
- 2 浮かない表情で立っている様子
- 3 姿勢が悪い状態で立っている様子
- 4 驚いた状態で直立している様子

問二 傍線部⑥「私たちはただ見学をするだけですか」と言ったときの山田の心情として最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 見学をするだけというのは不都合で、見学以外しないことに疑問を抱いている。
- 2 見学をするだけというのは期待外れで、役人の対応に不信感を募らせている。
- 3 見学をするだけというのは予想外で、英語の授業ができないのを残念がっている。
- 4 見学をするだけというのは不満で、英語の授業を行いたいという希望を持っている。

問三 傍線部⑧「性こりもなく」とはどういうことか、最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 しつこく同じことを繰り返し返して
- 2 慎重に失敗しないよう注意して
- 3 無理を承知で開き直るように
- 4 何度も丁寧に反復するように

問四 傍線部⑨「そのとなりにいた男が悲鳴に似た叫び声をあげて、それをさえぎった」のはなぜか、その理由として最も適当な

ものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 周囲を省みずに延々と質問をする無神経な山田の態度に対して、腹を据えかねたから。
- 2 英語力をアピールすべきだという山田の考えに対して、あまりにも無謀だと感じたから。
- 3 英語を話さざるを得ない状況になることが、英語に自信のない伊佐にとって耐えられなかったから。
- 4 英語のみで会話をするという提案が、伊佐にとって屈辱的であおられていると感じたから。

問五 傍線部⑫「釜の中で煮られるような思いですごした」とあるが、そのときの伊佐の心情として最も適当なものを次の中から

選び、その番号をマークしなさい。

- 1 不安におびえて冷や汗をかいている。
- 2 はげしい苦しみが心の中で渦巻いている。
- 3 相手に気圧されて気後れしている。
- 4 どうすることもできない無念さに耐えている。

問六 傍線部⑬「伊佐はわざと早口でくりかえした」とあるが、そのときの伊佐の心情として適当でないものを次の中から一つ選

び、その番号をマークしなさい。

- 1 相手を早口で威圧してやろうと考えた。
- 2 相手とのコミュニケーションを拒否してやろうと考えた。
- 3 相手に本心を悟らせないようにしようと考えた。
- 4 相手に策略を気付かせないようにしようと考えた。

問七 ☐ A B に入ることばとして最も適當なものをそれぞれ次の中から選び、その番号をマークしなさい。（同じ番号を二度以上選ばないこと。）

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 口 | 2 | 鼻 | 3 | 肩 | 4 | 胸 | 5 | 足 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

問八 傍線部④「第二カ条が服装の清潔であつた」とあるが、彼らは普段どのような服装をしていたか、本文中から三十字以内の一文で抜き出し、その初めの五字を書きなさい。（句読点・符号も字数と数える。）

問九 傍線部⑪「それ」とは何を指しているか、本文中から三十字以内で抜き出し、その初めの五字を書きなさい。（句読点・符号も字数と数える。）

問十 傍線部①②③⑦⑩のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。文字は大きく鮮明に書きなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

哺乳類は子どもの保護を強める方向に母親の身体と行動を進化させ、また霊長類はそれを手指によって行うように進化した。そのことは子どもに対して母親が対面して触れ合い、手で親和的に関わることを増加させた。それと同時に霊長類には、個体の自律性、すなわち個としての行動の自由度を高めるという方向の進化も指摘できた。こうしたことをふまえれば、ヒトは霊長類の中で最も子どもを保護する傾向が強く、かつ最も個の自由度が高い種^①となる。

しかしこのことは、個体としてのヒトの母親にとっては矛盾をはらんでいる。なぜなら、子どもの保護は、自身の他の行動を犠牲にして子どもに積極的に関わることを必要とし、それは母親が個体として自由にふるまうことを難しくするからである。そのことが子育ての困難の根本的な原因であり、子育てに悩む^②ということは、ヒトならではのA^③的宿命なのである。

ヒトの赤ちゃんは「生理的早産」、つまり本来生まれるべき時期よりも早く生まれることに由来する行動的な未熟さを特徴とする。ヒトは四足歩行をやめて直立二足歩行を行うことによって、骨盤が変形するとともに、身体が支えるべき頭部（大脳）を大きく重くできた。それがヒトに難産と生理的早産をもたらしたのである。そのためヒトの新生児は、二次的就巢性（本来、離巢性の動物が二次的に就巢性の特徴をもつ）^③を備えることになり、そのことが「離れつつ守る」というヒト独特の育児スタイルを発達させた。

したがって、ヒトの赤ちゃんは這^はったり歩いたりということはしばらく不可能な、寝たきりの状態である。また母親もその子どもを常時抱き運ぶということをしないので、母子はかなりの時間分離することになる。そのため^④に家庭という安全な母子分離空間が必要となった。母子の結合を強めるといふ進化の方向性からすると、変則的な霊長類である。

接触するとしても、長時間にわたる場合は手でなく、スリングやベビーカー^{（注）}などを使って運ぶ。もしくは他者に手渡す。つまり

母親一人が自分の身体を用いて子どもを守るスタイルから、^⑤周りの多様なヒト・モノ資源を利用して子どもを守り、社会的子育てをするようになったのがヒトであるといえよう。結果として母子の安定した分離が実現されている。

養育者との身体接触を通じて安心が得られ、それをベースに子どもは母親から離れて外の世界をタンサクし、^⑥新たな可能性に挑戦できるようになる。こうした考え方は「アタッチメント（愛着）理論」と呼ばれ、ヒトの子育てや発達における重要な基礎として位置づけられている。しかし、実はヒトの母子は、本質的に出生の直後から分離的なのである。

かつての母親は献身的に家事や子育てに^⑦ツトめていたが、現在は女性の就労も増え、家庭で主婦としてばかりでなく、個人としてふるまうことが増えている。これは単に時代の変化というよりも、むしろ自律志向という本来の生物学的な背景が表面に表れたものである。

子どもを守ろうとすればするほど、母親の体力と時間は奪われる。保護をするということは母子が近づき合うことであるが、それは同時に母子が互いに相手から行動の制約を強いられることであり、そのことは高い自由度を求めることと^{あい}相容れない。子どもへの愛情と個の自由度は相反しジレンマを生む。哺乳類であり霊長類であるヒトはこのような矛盾が最大化している動物であって、^⑧このことが本章の冒頭^{（注）}に述べた育児のトレードオフに関係しているとともに、ヒトの子育てに抜き差しならない困難をもたらしている根本原因でもある。女性の個人化という今日の傾向にはそういう生物学的背景がある。

このような特徴のため、ヒトの母親は子どもを守ろうとしつつ、離そうとする。分離しつつ守ることは、矛盾的關係にある子どもの保護と母子の自由度を、ともに満足させる「**B**策」であった。これは、母子の愛着関係の重要性を指摘したアタッチメントの議論にはない視点であるが、^⑨ヒトの親子関係の基底をなす重要な認識であると私は考えている。

二次的就巢性という状態は、真の**C**ではない。目や耳は環境に対してしっかりと開かれて情報を取り込めるし、声や視線・表情、手足の動きなどを用いて周囲に発信もできる。もちろん自ら歩いたり、走って場所を移動したり、振りほどかれないように母親にしがみついたりすることはできない。しかしその代わりに周囲の状況を把握し、泣いて親を呼び、親から保護を引き出す能

力が高い。^⑩子どもの顔つきや仕草のかわいらしさは、保護の解発刺激として、それへの敏感な反応を親に引き起こさせる。

ヒトの赤ちゃんがもつ高い認知能力は、たとえば顔という刺激に対する生まれつきの好みからみることができる。また、身体の節々につけたマーカーの動きの映像だけをもとに、それが動く人であると識別する能力も備わっている。さらに、目の前でおとながする舌出しなどの表情を、自分の顔で模倣する能力などもあり、新生児に人刺激への高い視認能力があることが確認されている。^⑪しかも、タイナイで聞いていた音刺激を出生直後から認識できるなど、聴覚的にも高い能力をもっている。

新生児は一見未熟ではあるが、先に確認したように、生命の発時点からすでに本質的に能動的で主張的である。子どもの見かけ上の弱々しさに惑わされて、^⑫ともするとそういう子どもの強さが見失われがちである。いわゆるネズミの赤ん坊のような、目も耳も閉じている本来の就巢性の特徴とは明らかに異なっているのである。

（根ヶ山光一『抱え込まない子育て——発達行動学からみる親子の葛藤』による）

（注1） スリングⅡ片方の肩に布をかけるようにつるし、その布で赤ちゃんをすっぽり包みこむもの。

（注2） 本章の冒頭に述べた育児のトレードオフⅡヒトは、親と子どもが近づき合おうとする性質と、親子が分離独立しようとする性質をもっており、両者は相容れない関係にあること。

〔問一〕問八については、マークシートの所定の欄に記入しなさい。問九～問十については、記述式解答用紙の所定の欄に記入しなさい。〕

問一 Aに入ることばとして最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 社会 2 進化 3 生物 4 認知

問二 ☐ Bに入ることばとして最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1 競合 | 2 譲歩 | 3 妥協 | 4 融和 |
|------|------|------|------|

問三 傍線部⑧⑫のことばの意味として最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

⑧「抜き差しならない」

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 後戻りのできない | 2 簡単には解決できない |
| 3 矛盾を取り除くことができない | 4 やり直すことができない |

⑫「惑わされて」

- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| 1 踊らされて | 2 心が揺れて | 3 そそのかされて | 4 だまされて |
|---------|---------|-----------|---------|

問四 傍線部②「子育てに悩む」とあるが、母親が子育てに悩む原因はどこにあると考えられますか。最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 母親が献身的に子育てをしながら仕事をし続けることが現代社会では当然のことになっているから。
- 2 母親が個人として自由にふるまうことが社会で求められているにもかかわらず、子育ての期間はそれが実現できないから。
- 3 母親が子どもを保護することと自分自身が自由に行動しようとすることを両立させることが難しいから。
- 4 母親が自分自身の自由を守りつつ子どもの自由を同時に確保することが難しいから。

問五 傍線部④「家庭」とあるが、家庭はヒトの子育てにおいてどのような役割を果たしていると考えられますか。最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 子どもが寝たきりにならないようにするためのモノ
- 2 子どもが一人で安全に生活できるようにするためのモノ
- 3 母親が子どもから離れる時間を確保するためのモノ
- 4 母親と子どものつながりを強固にするためのモノ

問六 傍線部⑤「周りの多様なヒト・モノ資源を利用して」とあるが、具体的にどのようなことが考えられますか。具体例として適当でないものを次の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- 1 祖父母に子育ての援助をしてもらうこと
- 2 父親が子育てに関わること
- 3 母親が子育てのために仕事をやめること
- 4 保育園に子どもを預けること

問七 傍線部⑨「ヒトの親子関係の基底をなす重要な認識であると私は考えている」とあるが、ヒトの親子関係に関する筆者の認識はどのようなものであると考えられますか。最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 親との身体接触によって十分な安心感が得られている場合に限って、子どもは親から分離できる。
- 2 周りの人々に助けられながら社会的な子育てをすることによって、子どもは親から分離できる。
- 3 母子の愛着関係が非常に強いものになっていなければ、子どもは親から分離できない。
- 4 親が意図的に子どもから離れない限り、子どもは親から分離できない。

問八 傍線部⑩「子どもの顔つきや仕草のかわいらしさ」とあるが、子どもの顔つきや仕草のかわいらしさはどのように働いてい

ると考えられますか。最も適当なものを次の中から選び、その番号をマークしなさい。

- 1 親からの自律性を確保する。
- 2 親からの保護を獲得する。
- 3 子どもが自分の自由を確保する。
- 4 子どもが模倣する能力を獲得する。

問九



□に入ることを本文中から抜き出して書きなさい。

問十

傍線部①③⑥⑦⑪のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。文字は大きく鮮明に書きなさい。